

管理栄養士国家試験問題について（案）

○出題数及び出題数の配分について

表 現行の管理栄養士国家試験の出題数の配分

社会・環境と健康	20問
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	30問
食べ物と健康	25問
基礎栄養学	14問
応用栄養学	16問
栄養教育論	15問
臨床栄養学	30問
公衆栄養学	20問
給食経営管理論	20問
応用力試験	10問
計	200問

○出題形式について

出題形式に関しては、正しいもの（5つの選択肢から1つないし2つの正解肢）を問う方式を原則とすることが望ましい。なお、応用力試験など、栄養アセスメントの基本的な理解並びにそれらを実施する上で必要な思考・判断力、基本的な課題に対応する能力を評価する問題では、最も適切なものを問う方式を用いても良いこととしてはどうか。

○合格基準について

現行の出題基準により行われた第20回国家試験以降の毎年の合格率は、別表のとおり安定した水準を維持していることから、合格基準については、引き続き現行の合格基準を継続することが望ましいとしてはどうか。

別表 管理栄養士国家試験 合格率

	合格率(%)				
	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回
合計	26.8	35.2	31.6	29.0	32.2
管理栄養士養成課程(新卒)	72.3	81.8	80.6	74.2	78.7
管理栄養士養成課程(既卒)	7.2	18.5	9.4	8.6	14.9
栄養士養成課程(既卒)	8.8	14	9.0	7.5	10.2
	第25回	第25回(追)	第26回	第27回	第28回
合格率(計)	40.5	34.1	49.3	38.5	48.9
管理栄養士養成課程(新卒)	82.1	66.0	91.6	82.7	91.2
管理栄養士養成課程(既卒)	14.9	25.1	29.1	7.9	23.9
栄養士養成課程(既卒)	14.2	26.3	22.9	10.1	19.3

○今後の出題基準の見直し

今回と同様に4年に一度改定を行い、内容の充実を図ることが望ましいとしてはどうか。

○試験問題のプールについて

他職種国家試験においては、試験問題を蓄積すること（プール制）が有用とされていたが、十分に機能し活用されている事例が乏しいことから、実質プール制の運用は中断されている。

管理栄養士国家試験においては、過去に出題された良質な試験問題は、単純な正答の暗記による解答が行われないう、問題の趣旨が変わらない範囲で設問及び選択肢などを工夫し活用してよいものとしてはどうか。